

広報 しばた

3 since 1961
2015
MAR
No.641



かわいいでしょ！

ぼくたち、わたしたちが作ったひな人形

(観木保育所)



①田園風景(上川名地区) ②花卉の生産が盛ん(四日市場地区)
③JR槻木駅と小室達氏の作品「舞」

問 まちづくり政策課 Tel.54-2111

特集
1

槻木まちづくり構想ができました

かえ 還りたいふるさと槻木

～まちづくりは皆の手で～

住民の皆さんが主体となって槻木地区の将来を描いた「槻木まちづくり構想」が2月にまとめ、町へ提言されました。これまでの取り組みと構想の概要をご紹介します。

米や野菜などの農産物など
資源「雨乞のユズ、花卉、
磨崖仏群や貝塚などの歴史
景が広がる環境資源」富沢
「昔から変わらない田園風
景が広がる環境資源」富沢
磨崖仏群や貝塚などの歴史
資源「雨乞のユズ、花卉、
米や野菜などの農産物など

ドタウンです。そして、
便が良い仙台都市圏のベッ
槻木駅があるなど、交通の
阿武隈急行線が乗り入れる
が縦断し、JR東北本線と
槻木地区は、国道4号線

現状と課題

平成26年7月から平成27
年2月までの間、槻木地区
が抱える課題を再認識し、
まちづくりの将来の方向性
を考える「槻木まちづくり
研究会」が組織されました。
研究会会員は、公募者、各
地区の子ども会育成会、商
店会、子育て支援団体、仙
台大学、ジュニアリーダー、
地域づくり団体などの幅広
い年齢層の27人。宮城大学
地域連携センター地域振興
事業部長の古川隆先生をア
ドバイザーとして迎え、話
し合いを重ねました。

槻木地区の将来像

古くからの町並みがあり、
自然豊かで、交通の利便性
が良い今の槻木地区は変え
ません。数多く存在する地
域資源を有効活用し、工夫
を凝らしてにぎわいをつく
り、地域コミュニティの
再構築と人材の育成を進め
「還りたいふるさと槻木」
と誰もが誇れる地域を育て
ます。

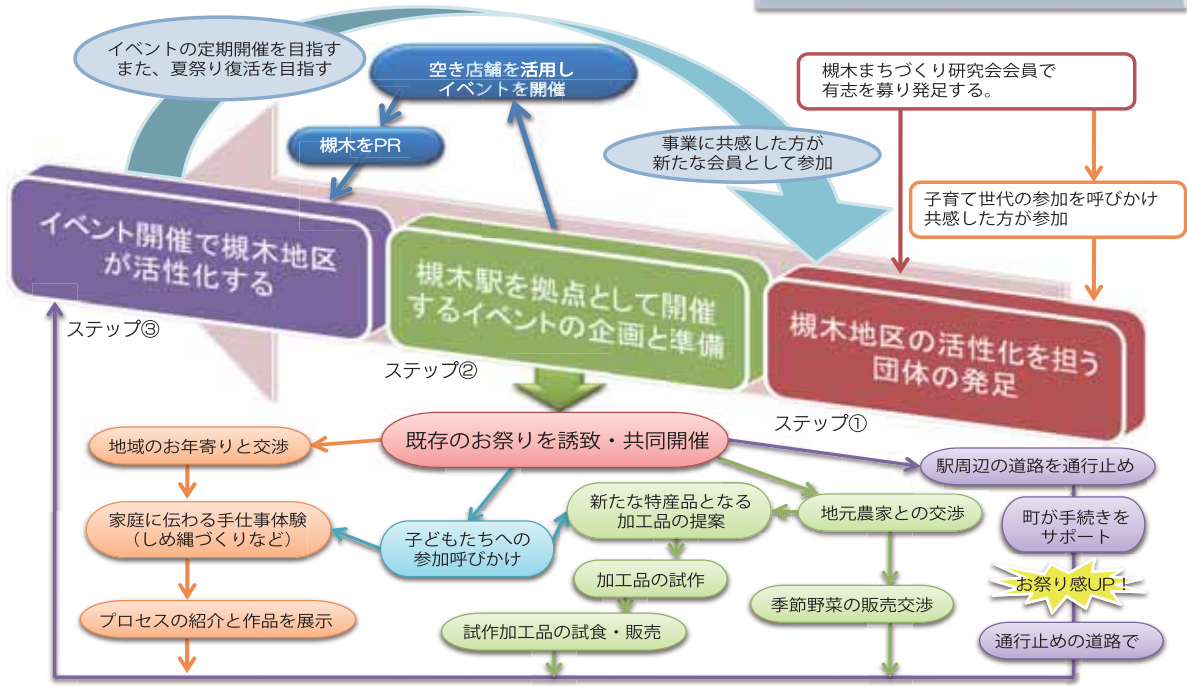
の生産資源」などの地域資
源が多くあります。
しかし、少子高齢化や担
い手不足などの問題で、駅
前商店街は空き店舗が目立
つようになり、お祭りなど
の人々がにぎわうイベント
が減少しています。
道路の補修や幹線道路の
拡幅、冠水対策といった生
活に密着する要望もありま
すが、研究会では、人と人
とのつながりの希薄化に強
い危機感を感じ、地域コ
ミュニティーの再構築を最
優先課題としました。



槻木まちづくり構想 まちづくりプラン実現に向けた事業イメージ

イベント開催のコンセプト

- ・ お祭りを開催 → 子どもが集まる
- ・ 子どもの作品展示 → 親・お年寄りが集まる
- ・ 子どもに技術を教える → お年寄りが喜ぶ



実現に向けて ステップ① 槻木地区の活性化を担う 団体の発足

研究会会員を中心に実行組織を発足させ、気軽に集まれる場をつくり、追加会員の参加を呼びかけます。

実現に向けて ステップ② 槻木駅を拠点に開催する イベントの企画と準備

町内で開催されている各種イベントを槻木駅前に誘致し、槻木地区独自の発想を付け加えることから始めます。空き店舗を活用し、子どもたちが、地域のお年寄りからしめ縄作りなどの伝統と技術を学び、作品を販売するなど、世代を超えた交流ができるイベントを企画していきます。

実現に向けて ステップ③ イベントの開催で 槻木地区を活性化

定期的なお祭りのようなイベントを開催し、人々とのつながりを増やし、地域コミュニティを再構築します。

また、いつからか消えてしまった「槻木夏祭り」の復活を目指します。

今ある住みよい槻木を大事にし、地域への理解、協力をいただきながら、みんなで魅力あるまちに創りあげていきます。

「槻木まちづくり構想」は町ホームページに掲載するほか、まちづくり政策課、槻木生涯学習センターでご覧になれます。



研究会会員
森 裕樹さん

槻木について改めて考える機会を持つことができた研究会。学生から、先輩までいろんな世代の意見が活発に飛び交い、今の槻木を知ることができました。これからは、話し合いの場となる組織を立ち上げ、人づくりをしていきます。そして、心豊かな子どもたちが、地元の槻木を知り、還りたくなるふるさと槻木を目指します。



9



8



7

④槻木駅周辺の町並みを確認しながら歩く研究員 ⑤アドバイザーの古川隆先生 ⑥3つのグループに分かれて話し合いました ⑦グループでまとめた成果を発表する研究員 ⑧2月7日(土)、「槻木まちづくり構想」を溝口町長へ提出しました ⑨槻木地区が大好きな研究員のみなさん

認知症の方と家族をみんなで支えよう!

～住み慣れた地域での生活を継続するために～

問 福祉課 Tel.55-2159



介護家族の「しゃべり場」で、お茶を飲みながら気軽におしゃべりするみなさん

認知症って?

認知症は、さまざまな原因で脳細胞が損傷を受け、情報を分析したり、記憶したり、思い出したりする認知機能の働きが低下し、生活に支障が出ている状態をいいます。(図)

高齢者に多い病気です、誰でも認知症になる可能性があります。ありますが、認知症になっても、周囲の理解と支えがあれば、住み慣れた地域で暮らすことができます。

町の認知症の現状

柴田町の高齢化率は25%を超え、町民の4人に1人が65歳以上の高齢者となりました。全国の高齢者の認知症有病率推定値は15%で、町の認知症高齢者数は約1,400人と推計されます。

昨年1月に町が実施した「日常生活圏域ニーズ調査」では、介護認定を受ける主な要因として、病気や高齢による衰弱、転倒によ

る骨折などがありますが、認知症が約3割を占めています。

平成26年4月現在の町の介護保険の要介護認定者は1,428人で、そのうち認知症のある方が940人となっています。

認知症の診断を受けるには

まず、かかりつけの医師に相談してください。必要に応じて専門医のいる病院を紹介してもらうことができます。

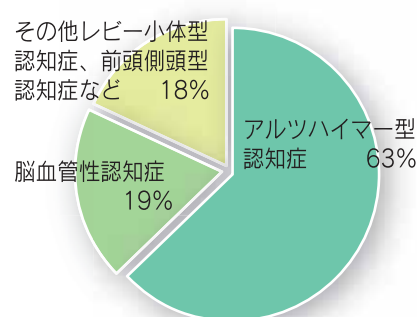
また、認知症疾患医療センターとして県の指定を受けている仙南サナトリウムでは、認知症についての相談と受診ができます。早期発見・早期治療が大切です。ご家族の方などが認知症かもしれないと思ったら、早めに受診しましょう。

宮城県認知症疾患医療センター
仙南サナトリウム
Tel.0224-2210266
(要予約)

(表)町の地域包括支援センター

名称	住所・電話番号
柴田町地域包括支援センター (船岡・船迫中学校区担当)	大字船岡字中島 68 (柴田町地域福祉センター内) ☎ 86-3340
槻木地域包括支援センター (槻木中学校区担当)	大字海老穴字丸山 40-2 (第二常盤園内) ☎ 56-5764

(図)認知症の種類



場所／白石市大鷹沢三沢字
中山74-10
受付時間／平日午前9時～
午後4時30分



介護家族の「しゃべり場」では、みんなで歌を歌う音楽のひとときもあります。



介護家族の会「よつば会」のクリスマス会では、ケーキづくりを楽しみました。



介護予防の運動教室では、頭の体操も行っています。

町の身近な相談窓口

町の地域包括支援センターでは、専門職員が、本人や家族、地域の方などから認知症や介護予防、高齢者へのサービスなどについての相談に応じています。看護師や社会福祉士、主任ケアマネジャーなどが相互に連携し、さまざまな制度の活用を支援します。(表) **介護家族の交流の場を活用しましょう**

柴田町地域福祉センター内にある柴田町地域包括支援センターでは、介護家族への支援として、認知症の方と家族と一緒に参加できる「しゃべり場」を毎月開催し、お茶を飲みながら交流をしています。また、介護家族の会「よつば会」では、介護をしている方、介護を経験した方などが集い、交流会や移動研修で介護を学んでいます。開催日時などの詳細は、広

報しばたお知らせ版に掲載します。

利用できるサービス

町内に5箇所ある認知症のグループホーム(認知症対応型共同生活介護)では、認知症の方々が、専門のスタッフによる身体介護と機能訓練を受けたり、レクリエーション活動をしたりしながら共同生活を送っています。

行方不明者を迅速に探す協力体制

「SOSネットワーク」

警察が組織し運営しているSOSネットワークは、認知症の方が徘徊で行方不明になったとき、警察による捜索だけでなく、ラジオで情報提供を募り、タクシー会社などに捜索協力を呼びかけるなど、さまざまな方法で行方不明者を捜し保護するしくみです。認知症の方が行方不明になった場合は、すぐに警察

へ連絡してください。

地域で見守りの輪を広げましょう

これまで延べ1,500人の町民が「認知症サポ



認知症サポーターの証「オレンジリング」

ター養成講座」を受講しています。

町では、小学生から大学生などのこれからを担う若い世代の方や商店、事業所などを対象として、「認知症サポーター養成講座」を積極的に開催します。

認知症の方や家族を温かく見守る支援者としての証「オレンジリング」の輪を広げましょう。

介護家族の「しゃべり場」に参加しています

佐藤 よし子さん

7年間、自宅で両親を介護しています。365日、毎日介護の繰り返しで、とてもストレスが溜まります。介護の立場は人それぞれ違いますが、しゃべり場に参加し、同じ仲間や介護をし終えた先輩の話を聞きながら、自分も話をすると、気持ちがすごく楽になります。悩みや不安を溜め込まず、吐き出すことも大事です。私はしゃべり場に参加できて、本当に助かっています。

日本の絶景や旬の味を楽しむ旅番組を見るのが好きです。「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」は、シナリオのない行き当たりばったりの旅だけに、ハプニング続出で、見ていて楽しいです。

お花畑や田んぼを抜け、曲がりくねった溪流沿いを走り、湯けむりにかすむ渓谷の温泉街に辿り着くまでの旅番組に、私の旅心はかきたたえられるばかりです。

旅への思いが募る中「旅行なんでもランキング」という本を見つけ、「行ってみたいさくらの名所ベスト10」を開いてみたところ、残念ながら船岡城址公園や白石川堤の桜は載っていませんでした。まだまだ観光地としての知名度が不足していることは否めません。町民の中にも「そもそも蔵王のような雄大な景観や温泉や名物があるわけでもなく、たった2週間の桜の季節だけで観光振興とは？」と懐疑的な見方をする方がいらっしやることは承知しております。

しかし、ここ数年観光まちづくりを掲げ、四季折々に咲く花木を植栽し、また、「しばた紫陽花まつり」や「しばた曼珠沙華まつり」、「光り輝けしばたのイルミ

旅の楽しみ

ネーション」などのイベントを開催してきた結果、年間の観光客数は30万人を超えました。着実に観光地としての体裁が整ってきています。いよいよ3月29日には「しばた千桜橋」と(仮称)里山ガーデンハウス」が完成しますので、観光地としての知名度はさらに高まるものと思っています。

課題は、いかにこの好循環をまちな中の消費に結びつけていくかです。お客様によく言われることは「食べるところや喫茶店がない」「買いたい土産品が売っていない」という不満です。需要はあるのに、供給が伴わないのでは、地域経済の活性化には結びつきません。こうした需給ギャップを解消するためには、なんとしても商売人のやる気と才覚の発揮が求められます。

旅の楽しみは、見知らぬ風景や街並に魅せられ、地元の人との出会いに感動し、その土地ならではの名物や料理を味わい、そして名品を買うことにあります。早くそうした旅人の心を十分に満足させられるような観光スポットやお食事処を整備し、柴田町の魅力が旅番組で全国に放映されるよう期待したいと思っています。

家庭からの廃食油はリサイクルできます

家庭で使用された食用油（植物性廃食油）は、もやせるごみとして焼却されていますが、リサイクルできる大切な資源です。

町では、平成23年9月から植物性廃食油を回収しています。植物性廃食油は、リサイクル業者が不純物などを取り除くことにより、飼料や燃料へと生まれ変わります。

ぜひ回収にご協力をお願いします。

●廃食油回収実績(H27.1 現在)

年度	回収量(ℓ)
23	450
24	1,570
25	1,030
26	1,325

持ち込むときの注意点

【回収する油】

- サラダ油、なたね油、ごま油などの植物性油
- ※ 不純物（揚げた衣など）をできる限り取り除いた状態で、ペットボトルに入れお持ちください。



【回収しない油】

- 灯油やエンジンオイルなどの鉱物油
- ラードやバターなどの動物性油
- 事業所から出た油など

シリーズ 町民環境課 TEL 55-2113 FAX 55-4172

しばたecoライフ情報 ⑤

～環境にやさしいまちを目指して～



回収ボックス(榎木生涯学習センター)

回収場所

役場、各生涯学習センター、西住公民館、農村環境改善センター



みんなで一緒に食べるとおいしさアップ!

家族や友人と食事をする機会がありますか？

誰かと「おいしいね」などと会話をしながら食べると「食欲」も「おいしさ」もアップします。楽しい食事の時間は心の元気につながります。また、一緒に食べることで、食事についての知識を学び、伝える機会にもなります。

「一緒に食事(共食)」から学べること

たのしい食事ができる
(コミュニケーションが図れる)



「いただきます」 「ごちそうさま」



食に感謝する心が育つ

食事のマナーを知る



正しい箸の
持ち方を知る



マナーの悪い箸の使い方を学ぶ

指し箸



箸で人を指す

箸渡し



箸と箸で食べ物を渡す

探り箸



食べ物を箸で
探る

たて箸



箸をご飯に立てる

柴田小学校の食育の取組を紹介します

ハッピーランチタイム

「おいしいお弁当、いただきます」

6年生のリーダーのあいさつで、図書室がランチルームに変わります。年に3回、全校児童が集まり、各学年を分けた縦割り班ごとにテーブルを囲んでお弁当を食べます。今年で4年目を迎え、笑顔あふれる行事のひとつとなっています。

また、「手作りお弁当の日」には、4、5、6年生は自分でお弁当をつくり、1、2、3年生は家族と一緒に自分のお弁当づくりにチャレンジしています。



自分のお弁当を紹介しながら、みんなで食べると会話ははずみます。

広 告

広 告

まちかど NEWS



みんなで、植樹、看板やベンチを作りました。

自然と共に生きる柴小児童の森づくり

柴田小学校の児童たちは、平成25年度から、県の森林インストラクターの指導を受けて「わくわくの森」づくりに励んでいます。この活動は、学校の裏山を自分たちの手で整備し、自然の良さを体験していくものです。1月24日(土)、仙台市のAERで開かれたニッセイ緑の財団復興支援シンポジウムでは、同小4年生児童一人ひとりが「わくわくの森」を大切な宝物とするために夢や希望を発表しました。



柴小児童のメッセージは「自然と共に生きる」(シンポジウムでの発表)

交流館をにぎわす可憐なクリスマスローズ

町特産「クリスマスローズ展示即売会」が、1月31日(土)と2月1日(日)に、観光物産交流館で開催されました。亘理町の安倍礼子さんは「新聞記事を見て、初めて来ました。道の駅のようにですね。クリスマスローズのほか、さくら草やゆず酒も買えてよかった」と満足されていました。5回目の開催となった今回、3年から6年ほど育てられたクリスマスローズが、約350鉢販売されました。



産地ならではの品揃え



誕生日当日は、子供、孫、ひ孫に囲まれてのお祝い会

“ありがたい”感謝の気持ちで生活 櫻井はつよさん

四日市場地区の櫻井はつよさんが、2月11日(水)に100歳の誕生日を迎えられました。おしゃべりで周囲を楽しませるのが好きというはつよさんは、お祝いに訪れた滝口町長と笑顔でお話しされました。栄養ドリンクを「毎日隠れて飲んでる」と冗談を言うほどお元気で、今も通院せず、お薬も飲んでいないというから驚きです。孫やひ孫からも大事にされ大変感謝しているそうです。

広 告

緊張しながらも堂々と発言「子ども議会」

NEWS

榎木小学校6年生の児童が議員となって、町長と意見を交換する「子ども議会」が2月3日(火)に役場議場で開催されました。笑顔輝く柴田町”をテーマに、8人の小学生議員たちは、自分の考えを壇上で提案しました。菊地さくら議員は「町長を目の前にして自分の意見を話すのが難しく、とても緊張しましたが、町長から直接答えてもらい、うれしかったです」と笑顔で話してくれました。



「もっと自然を楽しめる町にしたい」と提案する渡辺陸斗議員



講師の話真剣に聞く生徒たち。

働く喜び、厳しさを学んだ「キャリアセミナー」

1月30日(金)、船岡中学校で、1年生を対象とした「キャリアセミナー」が開催されました。講師は、さまざまな職業の町内外で活躍する社会人19人。生徒たちは、希望する講師のもとで、具体的な仕事内容や苦

労話、やりがいなど生の声を聞き、将来を考えるきっかけとしていました。生徒の「柳敦志さんは「役場の仕事の話詳しく聞く事ができてよかったです」と話してくれました。

柴田町の給食が県庁食堂に登場

NEWS

1月27日(火)、宮城県庁2階の食堂に、広報しぼた2月号で紹介された柴田町の学校給食「ふるさとたつぷりメニュー」が登場しました。『伊達な学校給食フェア』として、70食(一食550円)が提供されたものです。県総務部市町村課に勤務している佐山亨主事(柴田町から派遣)が「宮城県産、柴田町産の食材がたっぷり入ったとても良い給食、うまい」と味わいながら食べました。



小学生当時は懐かしみながら、給食をいただきました。



全校生徒の前でオニ退治を発表する各学年の代表6人。

自分に住むオニをやっつけろ「豆まき集会」

節分の日の2月3日(火)、西住小学校で「豆まき集会」が行われました。大宮校長先生は「節分は季節を分ける日で、年に4回ありますが、寒さがとても厳しい冬から春への節分を特に大事にしてきました。風邪などの病気や自分の中のオニを追い出しましょう」と話しました。3年生の高山日菜子さんは「忘れ物をゼロにしたいので、忘れんぼうオニを退治したい」と元気に発表しました。

節分の日の2月3日(火)、西住小学校で「豆まき集会」が行われました。大宮校長先生は「節分は季節を分ける日で、年に4回ありますが、寒さがとても厳しい冬から春への節分を特に大事にしてきました。風邪などの病気や自分の中のオニを追い出しましょう」と話しました。3年生の高山日菜子さんは「忘れ物をゼロにしたいので、忘れんぼうオニを退治したい」と元気に発表しました。

広告

広告

短歌

泣きだした弟あやし笑顔にと孫は夢中で天使の声に
うす緑キャベツ洗う厨には春淡き香り清しき光
無精者甕に梅枝一ヶ月ポツリポツリと今満開に

本船迫 森田 真六
船岡 沢田 順子
船岡 菲神 葛

川柳

カギ針で飽きずに編んだ炬燵掛け
朝食にコツンと割りて寒卵
ニシコリケイ知らぬ日本人なかりけり
年かさね健康こそは力なり
今年こそ無病息災心して
今年も雪如月・私の誕生日
老残の余白陽射しに守られて
店先に商売繁盛の塩を盛る

船岡 阿部美代子
船岡 伊藤タイ子
西船迫 安ヶ平良三
梶木 加藤 利通
梶木 つきのき町子
西船迫 渡辺 晴江
船岡 小野寺一彩
船岡 佐藤 春市
船岡 濱御殿の栄枯盛衰語り種
いつまでも昔に帰らぬ歳の夢
身の丈を忘れ先祖も苦笑い
横網の郷里やさしい羊飼
お茶飲んで今日も得たこと二つ三つ
白鳥の旅立ちすすみ春真近
単身赴任戻って見れば席がない
入籍しようやくあいつに春が来た

船岡 長尾 純子
船岡 幕田 昇
船岡 早坂 洋子
船岡 阿部トクエ
船岡 小林 夢子
四日市場 曳地 真翔
四日市場 郷土 山櫻
船岡 千 舞

俳句

竜顔を拝すしあはせ龍の玉
みつまたや蕾み踊りて春近し
猫の恋去勢予約を許し乞う
木の芽立ちそめたる空を仰ぎけり
寒い朝笑顔のあいさつ春を呼ぶ
正座して尻の出るがまんひなまつり
ペダル踏む地球の春をじかに見て
突堤の小さき燈台春の潮

下名生 笠松ふみ子
西船迫 玉手みき子
西船迫 安ヶ平奈津枝
梶木 永井 堯
船岡 安藤 節子
大槻 信吉
小野 憲彦
江戸 裕子
このコート暖かくつて軽くつて
都へと春雪も乗る夜汽車かな
花の種秘めたる色の音を聞く
白梅を待ち侘びし人逝きにけり
竹折るる音や夜来の春の雪
残る雁ありて鎮もる山河かな
椿落ちて少しかたむく地球かな

上遠野三恵
鎌形 清司
鈴木 清子
鈴木 三山
鈴木 幸子
相馬カツオ
石母田星人

広報のしばたご利用ください

問 まちづくり政策課 ☎54-2111

目の不自由な方やお年寄り、子どもたちに「広報しばた」をより親しんでいただけるように、朗読ボランティア「結」の皆さんのご協力により、カセットテープ版の「広報しばた」を毎月発行しています。お気軽にご利用ください。

取り扱い施設

- まちづくり政策課(役場2階)
- 柴田町地域福祉センター
- 梶木事務所



朗読ボランティア「結」は、20年以上にわたる社会福祉への貢献が認められ、昨年12月に県から「住みよしみやぎづくり功績者表彰」を受けました。

広 告

広 告



夢空間 2015



女王の番犬
(ペンネーム)



切り絵「茶室如心庵」
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



瀬戸乃愛さん
船岡小学校5年



「オリジナル額の中の自分」(工作)

「いっぱいくだものができたよ！」(絵)



金子日南さん
船岡小学校2年

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間 2015)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで3月10日(火)まで応募ください。
※お名前や作品の読み方を記載してください。応募写真は返却しません。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎ 54-2111

広 告

広 告

『目指すは“簿記2級”、自分の能力を高めたい』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



経理事務を正確にこなす村上さん

仙台森紙業株式会社 柴田事業所
総務部総務課

村上 春菜さん(23)
むらかみ はるな

社会における物流や私たちの暮らしには欠かせない梱包資材の段ボール。軽くて丈夫なため、梱包以外の用途も計り知れませんが、この段ボールを製造、加工、販売し、南東北のみならず、北関東地方の企業とも取引がある会社が町内にあります。仙台森紙業株式会社です。今回は同会社の総務課に勤務する村上春菜さんを紹介いたします。

計算が得意な村上さんは経理の仕事をこなし、上司の小池部長からも「総務課の職員は3人ですが、会社の経理の仕事を村上さんに任せています。一生懸命にやってくれて助かっています」と信頼されています。また、村上さんは、夏には熱中症対策のため、工場内で働く社員のためにスポーツドリンクを作るなど、社員の体調管理にも気を配ります。インタビュー中、とても明るく応対してくれた村上さんの楽しみは旅行。全国制覇をめざし、昨年は九州、一昨年は北海道をまわり、すばらしい景色やおいしい食べ物を楽しんだそうです。

村上さんは「入社後に簿記3級の資格をとりましたが、今は2級を目指しています」と、仕事への思いを話してくれました。明るい笑顔の裏には大変な努力をされていることでしょう。がんばってください。

仙台森紙業株式会社柴田事業所

柴田町大字中名生字神明堂1番地 TEL 55-3311

本社は、京都市にある森紙業グループで、国内に31工場、4支店、海外に1工場を持つ。柴田事業所は、昭和48年から操業を開始。段ボールの製造・加工・販売を手掛け、宮城、山形、福島県を中心に岩手や北関東にも出荷している。従業員数83人



人口と世帯数
(平成27年2月1日現在)



38,430人
(前月比10人減)



19,115人
(前月比18人減)



19,315人
(前月比8人増)



15,180世帯
(前月比0世帯)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。